

委員会レポート

経済建設

総務

文教厚生

住民福祉部 住民課

質問 マイナンバーの準備状況は。

回答 県やシステム委託先の説明会に参加している状況。7月末に個人リストが配布され10月5日から通知カードが発送される予定。

住民福祉部 健康保険課

質問 風疹抗体の検査と予防接種の補助は。

回答 風疹の抗体検査は県が無料で実施している。マイナスの場合は予防接種補助をうけることができる。予算では30人を予定しているが、上回る場合は補正予算を検討する。

教育部 学校教育課

質問 熊本県教育委員会から、出ている土曜授業の目的と実施校、計画はどのようになっていくか。

回答 土曜授業の目的は基本的には、学校・地域・家庭の教育力を活用し地域に開かれた学校づくりを推進する。町の教

育基本構想も学校教育・家庭教育・社会教育の3本柱で進めている。昨年度からそれぞれ、学期に1回ずつ実施してきた。

今回、大津東小中学校の場合は年間10回の土曜授業を計画。夏休みを除けば、月1回程度の実施となる。大枠として週5日制の趣旨は踏まえつつが原則で、地域とのつながりを持ちながら、学校と

地域の連携による授業や学校行事、公開授業など土曜日に実施したほうが一層効果があるような中身を計画していく。

国は土曜授業により学校における学習と地域における多様な体験学習により、豊かな教育環境を提供し、社会全体の取り組みの充実が重要としている。

美咲野団地が 4つの行政区へ 改編されました

質問 行政区の分割や統合には規定がないということであるが、今後の方針はあるのか。また、新たに開発される新興住宅への対応はどのようなか。

回答 分割も統合も住民の合意が必要でありますので、まずは地区での話し合いが必要です。過去には、行政区を統合した事もあります。各行政区にはそれぞれの歴史があり、小さい区の声は届きにくいといった意見があり、元の形に戻した経緯があります。その反省も踏まえ、今後の方針については、区長会

などと相談をしながら慎重におこなって行きたいと思えます。

また、新興住宅地ができたときには、最初の段階で地元区長さんをお願いして対応してもらい、調整できない場合には、ある程度世帯が増えた時点で、町が自治会結成の支援をしていきたいと考えている。

町の地方創生への 取組状況は どのようになっているのか

質問 秋までに地方版の総合戦略を作成することになっているが、どのような状況か。

回答 地域の現状や将来の分析をおこないながら、

地域の「産・官・学・金・労・言」の参画も得て、策定して行きたいと考えている。

また広くたくさんの方の意見を聞く場として「地方創生・フューチャー・セッション」をおこなって、様々な立場の方に将来の大津町について語り合う機会をもうけた。

一般会計補正

(農政課)

質問 休止予定の岩戸の里の予算に關し、7月から9月までの必要な予算を組んだということだが、今後の予算や施設の現状はどうか。

回答 臨時職員以外の最

低限の維持管理については、来年3月までの9ヶ月で考えている。今後の管理や利用については、議会や住民説明会での意見を伺いながら検討する。温泉施設以外の利用については、政策会議等に諮り計画を立て、早い段階で利用できるよう考えているが、消防設備や給水

設備等に課題がある。課題を解決し公共施設としての活用を再開したい。なお温泉施設としての「岩戸の里」は国の補助金二分の一で整備しており、その目的に沿わなくなった場合、国への補助金返還ということにもなる。今後も県と協議を続けていく。

(商業観光課)

質問 地域おこし協力隊について、申込状況など現状はどうか。

回答 募集については、地域おこし協力隊の全国のホームページに掲載し5月末まで行った。神奈川県、千葉など県外から4人、県内から4人の合計8人(うち女性が2人)

の応募があった。今後書類選考後、面接等を経て2人を7月から雇用予定である。勤務場所は地域交流センターの予定である。応募者の中には、任期終了後は町内に居住し起業したいという人もいる。